



『ちよだフードバレーネットワーク』 ～プロジェクトの概要説明～

平成26年2月6日

ちよだフードバレーネットワーク実行委員会

平成26年2月6日にちよだフードバレーネットワーク会議が開催されました。

第1部 ちよだフードバレーネットワーク会議 10:00～11:30

1. 主催者挨拶

実行委員会代表 大塚洋一郎

(NPO法人農商工連携サポートセンター 代表理事)

2. 出席者挨拶

石川雅己様(東京都千代田区長)

野田武則様(岩手県釜石市長)

3. 出席者紹介

4. プロジェクト概要説明

田辺恵一郎(プラットフォームサービス株式会社 取締役会長)

5. 質疑応答・意見交換

(白樺へ会場移動)

第2部 ランチ交流会

11:45～12:45

主催:ちよだフードバレーネットワーク実行委員会

共催:NPO法人農商工連携サポートセンター 公益財団法人まちみらい千代田 プラットフォームサービス株式会社

後援:東京商工会議所千代田支部 千代田区商工業連合会 千代田区商店街連合会
千代田区商店街振興組合連合会

協力:ホテルグランドパレス

富士宮市長からのメッセージ

本日「ちよだフードバレーネットワーク会議」が、日本の中核である東京都千代田区にて開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

「ちよだフードバレーネットワーク」は、「ちよだプラットフォームスクエア」を拠点に、食をはじめとする地域の資源を生かした情報発信や交流を展開している自治体及び関係はじめ団体が、さらに連携を強化することにより「6次産業化による高付加価値の創出」及び「安全・安心な農水産物の供給」を目指すもので、これは当市がすすめている「フードバレー・食によるまちづくり」と正に合致するものであります。

さらに、当市は昨年の富士山の世界遺産登録及び和食の無形文化遺産登録という二つの追い風を受ける中、食をはじめとする地域の魅力への関心が高まっていることを生かし、これまで以上に全国各地の皆様との連携を深めてまいりたいと思っておりますので、皆様よろしく申し上げます。

一致団結し、頑張ってまいりましょう。

平成26年2月6日

富士宮市長 須 藤 秀 忠

帯広市長からのメッセージ

本日の会議にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。皆さまとお会いして、交流を深めさせていただくことを楽しみにしておりましたが、どうしても都合がつかず、出席できませんことを残念に思っております。

さて、帯広市では、恵まれた自然環境の中で営まれる大規模農業と、そこから生み出される食を柱として地域を豊かにしていこうと、十勝管内の18町村と一緒に「フードバレーとかち」の取り組みを進めております。その以前から「フードバレー」を掲げておられた富士宮市様とは、フードバレーを通じた交流をさせていただいており、今回、帯広市にお声掛けをいただいたのも、こうしたご縁があったからこそ思っております。

「十勝の大地から安全安心で美味しい食を多くの人にお届けしたい。」

私たちは、そんな思いを持って、これまでも首都圏の皆様にはPRしてきております。本日の会場でありますホテルグランドパレス様では、一昨年、農商工連携サポートセンターの大塚様のご紹介をいただき、十勝産食材を使ったフェアを開催させていただいており、心から感謝しております。

今後、本日ご出席されました各自治体の皆様や、開催に向けてご尽力されました関係団体の皆様と連携を深めるとともに、互いに切磋琢磨しながら、「食を通じて人の暮らしが豊かになる」、そんな取り組みを進めてまいりたいと考えております。

本日の会議が、それぞれの自治体の取り組みへの理解を深め、互いにエールを送り合うことができるような、実りあるものとなりますようご祈念申し上げ、開催にあたってのメッセージといたします。

平成26年2月6日

帯広市長 米 沢 則 寿

フードバレーネットワークのきっかけ

- 2010年2月、CPSにて「釜石フェア」開催
- 2010年8月、富士宮市と帯広市はフードバレー交流
- 2011年3月17日 「第2回釜石フェア」開催予定
- 市町村サテライトオフィス東京の利用自治体で被災されたのは釜石だった。
- まちみらい千代田とPS社が協力して、被災した飲食事業者の自立的復興支援として、「釜石キッチンカープロジェクト」を展開
- 帯広市の「北の屋台」を手本にキッチンカーの集積場所をつくり「まちの賑わいづくり」
- 「富士宮やきそば」がキッチンカーを利用して岩手県でPR販売

フードバレーネットワークのきっかけ



2010年2月

釜石市



2011年8月



2013年10月

千代田区



2012年1月

富士宮市



帯広市

2010年8月

フードバレーネットワークのきっかけ 千代田さくら祭り2013年

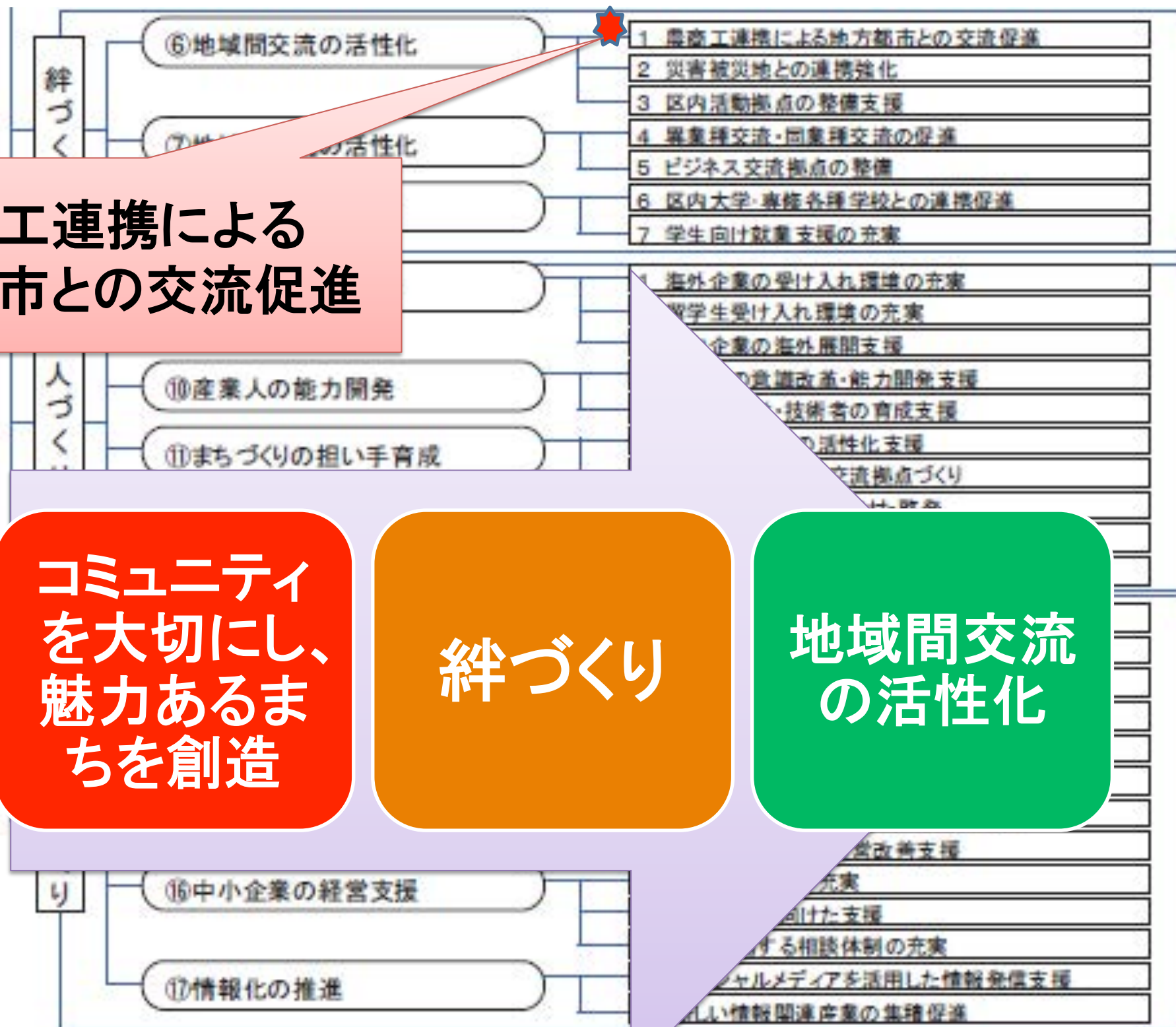


農商工連携による
地方都市との交流促進

コミュニティ
を大切にし、
魅力あるま
ちを創造

絆づくり

地域間交流
の活性化



市町村サテライトオフィス東京 利用自治体

申し込み順

- ・ 島根県海士町
- ・ 鳥取県境港商工会議所
- ・ 島根県邑智郡邑南町
- ・ 岩手県雫石町
- ・ 公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター(岩手県釜石市)
- ・ 山形県南陽市
- ・ 一般社団法人富士宮市地域力再生総合研究機構(静岡県富士宮市)
- ・ 長野県岡谷市
- ・ 一般社団法人魚沼市観光協会
- ・ 秋田県五城目町
- ・ 岩手県奥州市



市町村サテライトオフィス東京 勉強会



フードバレー構想 ふじのみや

富士宮市が有する自然環境の優位性（多種多様な食資源）を、「富士宮ならではの」という視点からまちづくりに生かそうと、平成16年に「食」を生かした産業振興と市民の健康づくりをめざして提唱

キャッチフレーズ

食を通じた市民の健康と幸せづくり

食をキーワードとした富士宮市総合計画！

食のまちづくり

5本の柱

- ① 食の豊富な資源を生かした**産業振興**
- ② **食のネットワーク化**による経済の活性化
- ③ 食と環境の調和による**安全安心な食生活**
- ④ 食の情報発信による**富士宮ブランド**の確立
- ⑤ 「**地食健身**」「**食育**」による健康づくり



基本コンセプト 「食の循環」



実施主体：市民、企業、生産者、大学、NPO、市
富士宮市フードバレー推進協議会



「フードバレーとかち」のコンセプト

十勝の恵まれた自然環境や豊かな農業生産など、4つの優位性を活かして地域産業の振興を

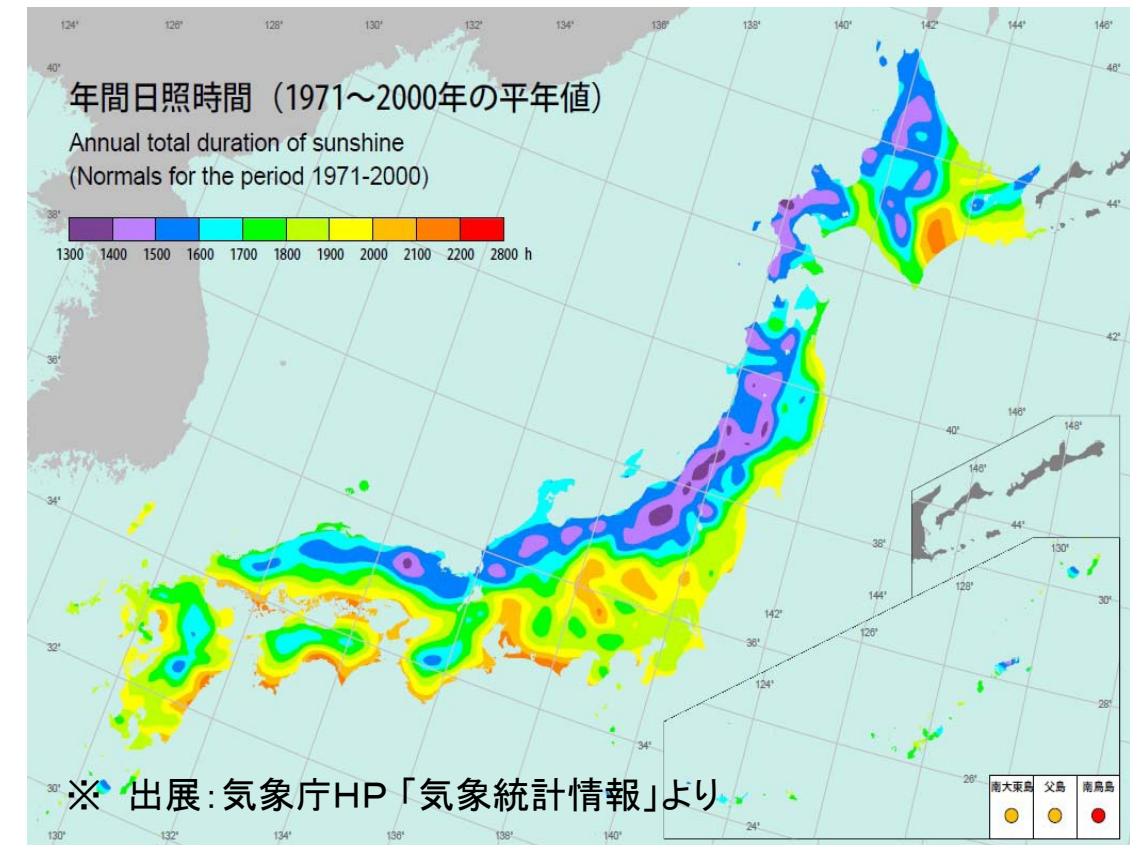
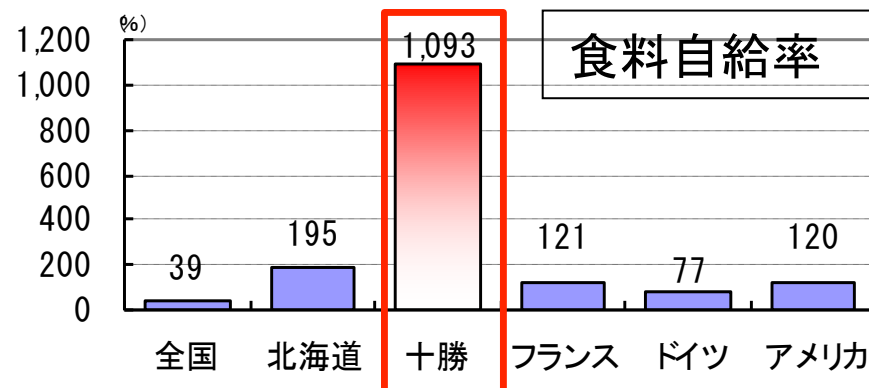
① 恵まれた環境力・資源力

- 2,000時間を超える日照時間
- 水・空気など良質な自然環境
- 良質な土(土壌改良(暗渠・明渠))
- 農業由来のバイオマスが豊富

② 豊かな

**食糧自給率
1,093%**

- 1100 (約40)
- 約26万ha (全国の1/10強)
- 全国トップクラスの生産量 (甜菜、小豆、サトウ、長いも、小麦など)



③ 安全安心力

- HACCP対応の施設
- 十勝 = 安全のイメージ
- 生産履歴開示への取組



④ 研究開発力

帯広畜産大学、北海道農業研究センター芽室拠点、道総研十勝農業試験場、道総研畜産試験場、十勝農協連農産化学研究所等の研究施設が十勝に集積

「フードバレーとかち」の取り組みの柱



農林漁業を
成長産業に
する

基本価値

十勝型フードシステム
～生産・加工・流通・販売
のバリューチェーン～

十勝の魅力を
売り込む

需要創出

食の価値を
創出する

付加価値



イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。

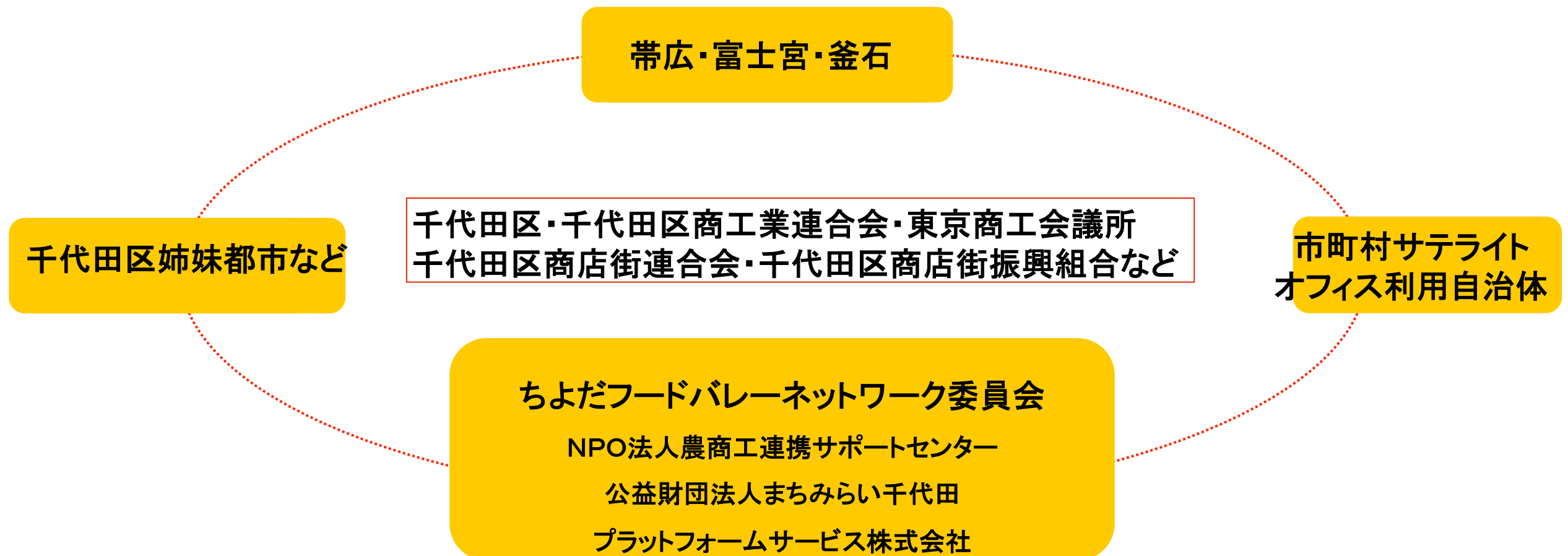


イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。

地方の名産品を千代田区に！

フードバレーネットワーク（千代田区と地方都市の連携）

- － 帯広、富士宮、釜石、姉妹都市、市町村サテライト……
- － 千代田区が官民連携でプラットフォームを提供
- － 「食」の家守構想（インキュベーション）の展開



ちよだフードバレーネットワーク

ー千代田区と市町村のコラボー

千代田区内

遊休施設/民間施設

これまでの実績

農商工連携サポートセンター

3年のマルシェ運営ノウハウ

- ・ちよだ青空市
- ・ホテ市
- ・ワテラスマルシェ

農商工連携オフィスの家守

プラットフォームレストラン

- ・地方の食材の活用
- ・地方を食す会の開催

まちみらい千代田

プラットフォームサービス

- ・9年のインキュベーション運営ノウハウ
- ・市町村サテライトオフィス
- ・女性起業家支援オフィス

東京の出先オフィス

直営レストラン(月替わりテーマ)

直営アンテナショップ

マルシェ開催

新商品テストマーケティング

レストランへの食材提供

都内の食材販路開拓

勉強会や情報交換会の開催

富士宮・帯広・釜石
千代田区姉妹都市
市町村サテライトオフィス
利用市町村など

地域の食材使った新商品開発
→都会の消費者の反応を知りたい
地域PRイベントを開催したい
地域PRツアーに誘客したい
共同オフィス利用で情報収集

千代田区商工業連合会
東京商工会議所
千代田区商店街連合会
千代田区商店街振興組合
都内の飲食店 など

オフィス+レストラン+マルシェ

総合プロデュース

ちよだ青空市

- ・ 2010年10月より**毎月定期開催** 36回開催
- ・ 13～16事業者、来場者200～400人
- ・ 近隣のオフィスに働く女性、周辺住民の方
- ・ 売り上げ25～64万円
- ・ **生産者と消費者の直接交流の場**
- ・ **テストマーケティング**



ホテ市

- ・ホテルグランドパレス(九段下)主催 **3ヶ月に1回開催**
農商工連携サポートセンター協力(出店者募集)
- ・ちよだ青空市の翌日(木)(出店者メリット)
- ・日本で初めて一流ホテルの宴会場でマルシェ
- ・来場者500人、近隣住民の方
- ・**ホテルシェフが地域の食材を料理し提供**



ワテラスマルシェ(千代田区淡路町)

淡路町他、地域住民＋WATERRAS入居者、居住者、利用者の輪をつくる場

WATERRASマルシェ

オフィス入居者

マンション居住者

淡路町他近隣住民

×
イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。



農産物・特産物販売

東京ではなかなか出会えない
地方の隠れた
本物(人・モノ)が揃う場

×
イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。



WATERRAS

×
近隣住民

×
地方
×
学生

地域交流

居住者、近隣住民、商業施設
利用者、学生、地方出店者など
、さまざまな人々の交流が生ま
れる場。

憩の場



ワテラスマルシェ(千代田区淡路町)

- 2013年4月～毎月開催
- 延べ20,881人来場
- 地方、地元商店街からの出店者延べ324店
- 売上総額 902万円
- 「にぎわい」の創出に成功

✖ イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤いxが表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。



ちよだいちばオープン 2014.6



イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。



イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。

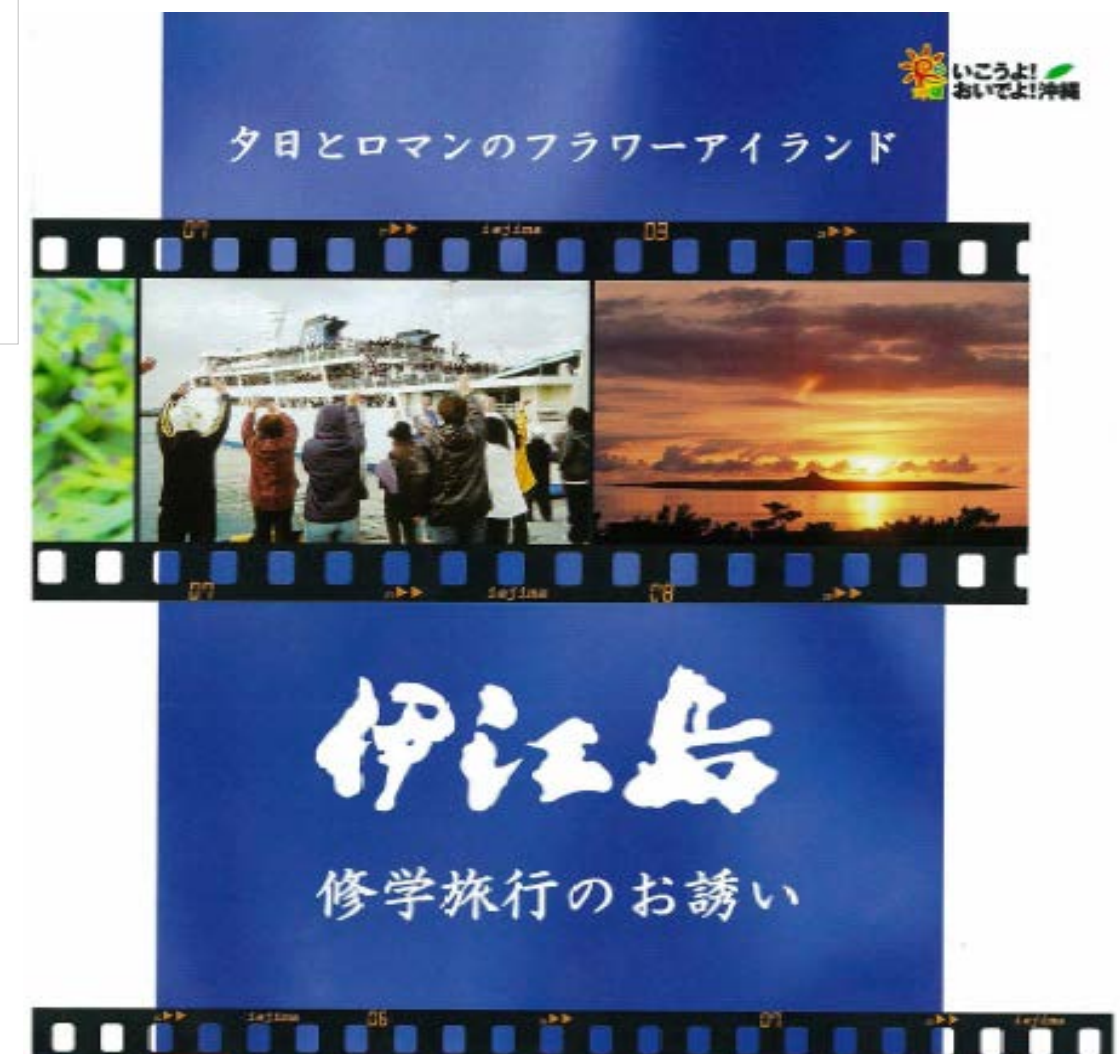


イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。



イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤い x が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。

地方食材を活用したレストラン funeがオープン 2014.7



千代田区から世界に向けて発信する

ニッポンの郷土の食と地酒の店 “fune (フネ)”

【目的】

地方の農業・漁業を中心にした経済を活性化し、地元コミュニティの維持と発展に尽くすことを第1の目的とする。

Funeという飲食店を通して、地域の知られざる食材と地酒(国産ワイン・焼酎等含)を積極的にPRし、千代田区が地方都市連携カフェとしてだけでなく、世界を繋ぐ懸け橋の拠点であり、発信基地となりうるワールドカフェを目指す。

今後益々増えるであろう外国人客を相手に、飲食だけでなく、彼らが地方に出かけ、新しいムーブメントが起きるような、様々なことにチャレンジしていきたい。

【命名と特長】

Funeは、サザエさんのフネからとったもので、利き酒師・フードコーディネーター・料理研究家・ソムリエ・バティシエ等、スタッフ全員を女性にし、柔軟で包容力のある、フネさんのような優しいおもてなしの店作りをしたいと思ったからである。スタッフは、一般募集と共に、女性起業講座終了後のインターンとして活用し、実際に起業のお手伝いをする事で、連携店のネットワークを視野に入れる。女性の起業と女性の活用は、地域おこしと並行して取り組みたい事業である。立ち上げに関しては、女性利き酒師の大西美香を起用し、プロデュースを依頼する。大西美香の幅広い人脈から、スタッフや蔵元等を選び、手堅くスタートを固めたい。

なみへいとの差別化

なみへい

月に2市町村限定特集

- ・スペシャルコース 3800円
- ・接待コース 5000円
- ・ハーフ(3点) 2500円

夜のみ営業

予約・コース中心

対象: 年配の人や接待

客単価 5000~7000円

Fune(フネ)

ランチメニュー

<食材の対象地域>

1. なみへい契約の市町村
2. サテライトオフィス契約の市町村

夜メニュー

<食材の対象地域>

1. 市町村単位
2. 酒から選ぶ、旬から選ぶ

居酒屋的(単品)

対象: 若い男女・外国人

客単価 3000~4000円

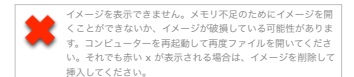
今後考えられる事業

1. 飲食業支援起業講座
2. 現場でインターン
3. レシピ開発
4. 外国人のための日本食料理教室
5. 地域ツアー
6. 朝食
7. 英語で日本酒PR講座
8. 子育て終了講座
9. 飲食業への派遣
10. 講師派遣

立ち上げの協力者

プロデュース

日本酒学講師 大西美香



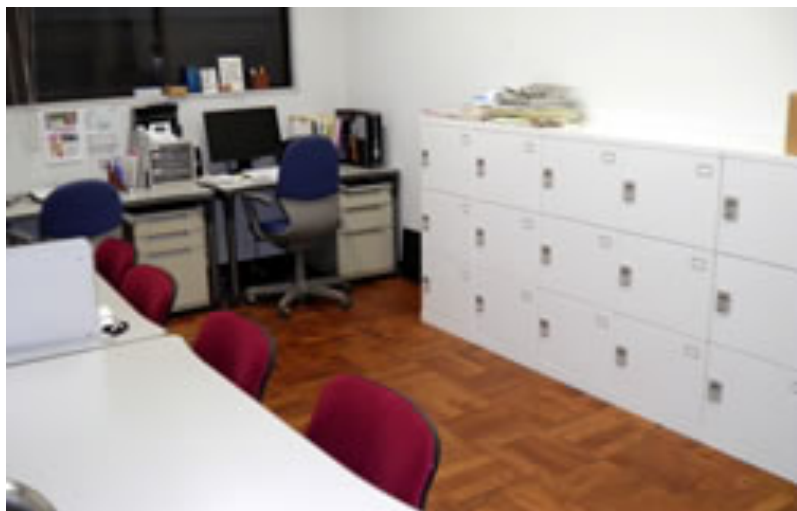
イメージが表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも赤いXが表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。

現在、新潟佐渡島の北雪酒造

輸出・全国営業担当

地方との連携（青空市・ホテ市・食す会）

市町村サテライトオフィス東京



農商工連携オフィス



地方を食す会（CPSにて 不定期）



青空市の開催（CPSにて 毎月）



可能性が
イメー



ホテ市（グランドパレスにて 年4回）

